



JSEMAが構築する維持・管理と補償体制

内容		期間	運営主体
機器	太陽電池パネル	10年製品/25年出力	メーカー
	パワコン	1年製品/10年延長	メーカー
	架台他	各部材・機器による	メーカー
設計・監理		10年	アドバイス(JSEMA)
施工・監理		10年	メーカーID/アドバイス(JSEMA)
維持・監理		10年	JSEMA
記録		10年	JSEMA
不具合調査・修繕		10年	JSEMA
火災、落雷、破裂、爆発、電氣的・機械的的事故		1年(毎年更新)	JSEMA



独自のS Iで
太陽光システムにかかる
コストを抑えられる



上里建設
戸矢大輔 社長

S Iになるという手もある。この完成形はご存知の通り、ハウスメーカーや大手ビルダーだ。具体的な一例として、『セナリオハウス』のブランド名で商品展開する広島建設は、かねてより自社で調達したシステムを展開。もともとサンテックパワーをメインに、三菱電機製などを提案していたが、自社で調達したシステムも採用。独自でS Iしたシステムではパネル・パワコン・架台の主要部材だけでなく、接続箱やケーブルなどの製品も調達、それぞれ製品保証や価格から厳選し、約2万円/KWの低減に成功したという。

また工務店で実践しているのが上里建設である。同社は年間50棟ペースで供給する工務店でありながら、F I T以降の産業用太陽光のブームに乗り、売上高約55億円(うち太陽光

発電事業(8割)にまで業容を拡大させた実績を持つ。10KW以上の太陽光発電所を全国で年間100ヶ所以上に設置しており、ここで培ったS Iのノウハウと大量仕入れによって、低コスト化を実現。1月13日〜7月31日までの期間限定で5KWまでの太陽光を無料設置するキャンペーンを実施するほどだ。システムはJ A ソーラーの多結晶270Wパネルとダイヤモンド電機の5.8KWパワコン、架台は得意先の掴み金具を用いる。それぞれ価格と性能から選択、架台については金属立平葺屋根と組み合わせることでコストダウンを図っている。保証は10年間の施工保証を自社で付帯する。

戸矢大輔社長は、「独自のS Iによって当社がシステム費用を負担できると考えた。『太陽光を搭載するなら、

既存の商流に捕らわれない
次の一手を提案したい

その費用分をキッチン等の設備に費やしたい』というお客様はまだ多い。無論、当社販売住宅の差別化を狙ってはいるが、電力やCO₂排出に関する意識改革も込めキャンペーン実施に至った」と話す。

S I参入を 支援する協会誕生

既にS Iを行う太陽光販売店や工務店もいるが、中小工務店では保証を付帯できないケース、またノウハウを持ち合わせていないケースはもろろある。そこで発足したのが日本あんしん設備保全協会(理事長:藤村智宏P V I F C T E C 社長、J S E M A)だ。同協会はシステム構成に必要な機器・部材メーカーと工務店や販

日本あんしん設備
保全協会(JSEMA)
藤村智宏 理事長

売施工店などで組織し、協会の機器をS Iする際に、協会で保証体制を用意するというもの。三井住友海上火災保険と提携し、火災や落雷などの自然災害による電氣的・機械的事故の補償も行う。藤村理事長は「不具合が発生した際、その原因究明が必要。何度も現地調査に赴かなければならない場合もある。さらにその間の売電の影響などスピーディーな対応

も求められる。そこを自社保証で担保できるか。当協会でここをフォローしたい」と話す。

設立経緯について「既存プレイヤーは商流が構築されており、これを崩すことは難しい。そういった方々からすれば、当協会は煙たい存在に映るかもしれない。しかし誰かが変えなければならぬと考え当協会立ち上げに至った」とし、続けて「Z E Hを推進したいが太陽光のインシヤルがネックと考えている中小工務店などにコスト削減の一手として提案していきたい。協会員の協同購買のオペレーションも担うため、一層の価格低減が期待できる」と語る。またソーラーフオーージャパンの伊集院社長も同協会の趣旨に賛同し入会。「海外の市場環境に近づけていくべきだと考えていた中、J S E M Aさんと出会った。同協会の仕組みは、保証が重要視される日本の特性に則りながら、海外の流通構造を実現できる」と話す。

また藤村理事長は、古くから太陽光事業に従事し、様々な企業の太陽光事業の立ち上げ支援やメーカー施工研修の講師なども務めてきた。このノウハウを活かし、同協会でも保

守点検や診断システムの開発、施工研修や太陽光設備点検技師の育成などを行う。「太陽光を扱ったことがない事業者でもS Iを始められる環境を構築している。また新規参入メーカーなどで住宅向けにシステム保証を用意していない企業もあるが、当協会では企業と信の観点から自社では保証を付帯しにくい海外製品も厳正に審査した上で入会して頂く。『このパネルを扱いたい保証が...』といった場合でも対応できるケースはある」と強みを語る。入会金・年会費は共に20万円とする。

徐々にS I事業を手掛けやすい環境が整いつつある。太陽光システムのコスト削減策として一考してみてもどうだろうか。